

4市連携による台湾東部沖地震災害救援募金を贈呈しました

海老名市、大和市、座間市、綾瀬市の4市は、5月30日、台北駐日経済文化代表処横浜分処に、台湾東部沖地震災害救援募金を贈呈しました。

令和6年4月3日に発生した台湾東部沖地震災害で被災された方々を支援するため、4月18日から5月28日まで、「大和高座（大和・海老名・座間・綾瀬）広域連携による台湾東部沖地震災害救援募金」を実施しました。

この間に皆様から寄せられた浄財は、4市合計で846,657円。

集まった浄財を現地で役立てていただくため、台北駐日経済文化代表処横浜分処（横浜市中区日本大通60朝日生命横浜ビル2階）で贈呈式を行いました。

贈呈式には、内野 優 海老名市長、古谷田 力 大和市長、佐藤弥斗 座間市長、内藤勝則 綾瀬市副市長が出席し、冒頭で張 淑玲^{ちよう しゆくれい} 処長は「この度の地震に対して、義援金を募集していただき、心から感謝を申し上げます。4市の皆さんは高座郡として、台湾の少年工などご縁が非常に深い市です。今日いただいた義援金を被災地の復興に生かし、皆様の温かい気持ちをお伝えします」と話しました。

その後、内野 優 海老名市長は、「台湾にはコロナ禍でのマスク等の支援、能登の地震でもすぐに対応いただき本当にお世話になりました。今回の台湾の地震には、4市そろって支援したいと動いてきました。今後とも4市で台湾との交流を深めていきたいと思えます。」とあいさつを述べ、4市を代表して古谷田・大和市長が張 処長に募金目録を手渡しました。



◎この件に関するお問い合わせ

海老名市保健福祉部福祉政策課 電話046-235-4820